

# 意欲に応え、 可能性を広げる 多彩な授業



「10年先、20年先に役立つ人材の育成」を教育目標に掲げる愛知淑徳学園は、創立以来100年以上にわたり、時代の先を見据えた教育に力を注いきました。学生・生徒一人ひとりの学びへの意欲に応え、社会でたくましく、やさしく生きる力となる「淑徳魂」を育んでいます。

中高・大学の多彩な授業を通してよりよい教育を追求し続ける本学園の「今」を感じてください。

文学部 国文学科

久保朝孝 教授

## 国文学講義(2) 中古b

千年以上も昔の恋物語を読み解き、人間と人生について深く学びます。



この授業では、原文を読み解き、登場人物たちの心情や行動の意味などを考察。現代を生きる私たちの心にも響く思いの一途さや、優い美しさと共に感することを通して、「人間とは何か」という根源的な問いに迫ります。その過程において、実社会のあらゆる場面で活用できる洞察力や創造的思考力を培います。

じめ古典作品が時を超えて読み継がれているのは、書かれたことばや描かれた世界が時代を超えた普遍性を有するとともに、常に新しい視点で解釈できる奥行きと広がりを持っているからです。

この授業では、原文を読み解き、登場人物たちの心情や行動の意味などを考察。現代を生きる私たちの心にも響く思いの一途さや、優い美しさと共に感することを通して、「人間とは何か」という根源的な問いに迫ります。その過程において、実社会のあらゆる場面で活用できる洞察力や創造的思考力を培います。

## 文学部 英文学科

## English Collaboration

WILSON, Joshua P. 講師 / WOODMAN, Jo-Anne 准教授

仲間や教員と  
料理などの活動を通して、  
英語コミュニケーションの  
能力を養います。



語学へと学ぶ意識を変え、英語コミュニケーションのおもしろさ、奥深さを感じます。特に学生たちの人気を集める体験学習が、料理です。英文のレシピを仲間と共に読み解いてペーパーなどを作り、英語で指示を受けながら料理を完成させます。楽しみながら「読む」「聞く」「書く」「話す」という4つの技能を自然と磨き、さらに「英語で思いを伝え合いたい」という向学心・向上心も高めます。

## 心理学部 心理学科

## データ解析Ⅰ

新美明夫 教授 / 小川一美 准教授 / 丹藤克也 講師 / 櫻井優太 講師

データから  
「ここに」を分析し、  
研究に必要な力を  
培います。



目には見えない「ここに」の働きを調べるためにどうすればいいのか？ 心理学はその方法を開発しながら発展してきた学問です。学修・研究を深めていくには、ここにを客観的に表すさまざまなデータの収集・整理、分析などをおこなうスキルが必要不可欠になります。そこで2年次前期に開講される「データ解析Ⅰ」では、データを解析する際の基礎技法を習得し、さまざまな種類のデータを適切に分析できる力を養います。授業の中心は、パソコンの統計パッケージソフトを活用した演習。注目する事象のデータの集約をしたり、複数の事象間の関係を数値的に検討していきます。こうした実践を学生たち自ら積み重ねることにより、心理学の4つの領域「生理・認知」「社会」「発達」「臨床」それぞれの実験や調査で得られるデータを有効に活用するスキルを培います。

## 交流文化学部 交流文化学科

### 小林三太郎ゼミ

**小林三太郎 準教授**

学生主体で地域貢献活動に挑み、  
多様な人と学び合っています。

学生たちが自ら考え、行動する



#### TOPICS

2013年度の活動

##### ■ 地域活性化

「若い力で一宮の街をもっと元気にしてほしい」と一宮市から依頼を受け、小林三太郎ゼミの学生たちは商品開発プロジェクト「お土産総選挙」や、1000個の風船を空に放つ「バルーンリリース」を企画・実施。一宮七夕まつりを大いに盛り上げました。また、名古屋市・御園通商店街の活性化をめざした取り組みにも励み、多様な人と協働することの大切さを体験的に学びました。



—小林三太郎先生のゼミでは、経営学を中心として医療や街づくりを実践的に学びます。グループ研究、プレゼンテーション、病院関係者や行政スタッフへの取材・アンケート調査、地域社会や企業と連携した地域貢献活動…。学内外での多様な活動を通して、学生たちは思考力・協調性、コミュニケーション能力、行動力を培い、さらに社会の諸問題を広く理解する複眼的な視点や実社会で必要な教養・マナーなどを習得。挑戦を重ねながら自立した社会人へと成長しています。

## ビジネス学部 ビジネス学科

### 大塚英揮ゼミ

**大塚英揮 教授**

デイベートなどの実践を積み重ね、  
社会に即した力を養成します。

## ビジネス学部 ビジネス学科

#### TOPICS

##### ■ デイベート交流会

他大学の学生と  
熱い議論を交わし、  
大塚ゼミが優勝を手にしました。

マーケティングを専攻する白石大学、東洋大学のゼミと共同で、大塚ゼミは毎年、デイベート交流会を開催しています。9回目を迎えた2012年度もビジネスシーンさながらの白熱した議論が繰り広げられました。結果は、大塚ゼミの優勝。約3ヶ月間かけて情報収集やデータ分析、資料作成などに励んだ学生たちの努力が実を結びました。



マーケティングや流通を専門とする大塚英揮先生は、理論だけに偏らない、常に実社会とリンクする学修を重要視しています。ゼミ活動の中心は、プレゼンテーションやデイベートのトーナメント戦。学生たちは企業へのヒアリングやアンケート調査などに積極的に取り組み、主体的に考え、発言する力を自然と鍛えています。さらに、他ゼミと学び合い、他大学とのデイベート交流会などを起こない、学生たちの向学心、向上心を刺激する学びを展開しています。

## 愛知淑徳中学校

## 高橋よしの 教諭

## 中学校 国語

生徒たちが主体的に「ことば」を学び、聞く力や共感力、豊かな心を育んでいます。



れる機会、ことばを通して人生を学ぶ実践の場なども用意しています。そして、生徒指導で大切にしているのは、生徒の言葉を丁寧に聞き、「あなたは素晴らしい！」と一人ひとりを肯定すること。個性や頑張りを認めてくれる先生の存在が、生徒たちの主体性、向学心を大きく伸ばしています。

## 愛知淑徳高等学校

## 山本理 教諭

## 高等学校 英語

国際人の基盤となる多様な力を、生徒の主体性を引き出しながら培います。



次代を担う国際人に求められる発信力は、豊かな語彙力や確かな文法力、表現力、読解力など、大学進学までに培う能力が基盤となります。英語科の山本先生は、生徒一人ひとりが巨大な英語のデータベースを作ることを目標に、インプットを重視しています。その取り組みのひとつが、「英文の音読」です。人に伝える気持ちで丁寧に読む練習、オーバーラッピング（英文を見ながら音声と同時に声に出す練習）、シャドーライング（音声を聞きとったそばから声に出す練習）などさまざまなおもじろさに気づき、自ら学ぶ力を身につけています。